

## 施策評価調書(5年度実績)

				施策コード	I-7-(3)		
政策体系	施策名	ネットワーク・コミュニティの構築	所管部局名	企画振興部		長期総合計画頁	63
	政策名	多様な主体による地域社会の再構築	関係部局名	企画振興部、生活環境部、土木建築部			

### 【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	小規模集落対策の推進	生活交通の確保・維持	ネットワーク・コミュニティづくりの推進	ネットワーク・コミュニティの形成を支える道づくりの推進

### 【Ⅱ. 目標指標】

指 標		関連する 取組No.	基準値		5年度			6年度	目標達成度(%)				
			年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125
i	ネットワーク・コミュニティ構成集落数(集落・累計) [県内集落数(4,250)に対する割合]	①② ③④	H26	-	2,020	1,954	96.7%	2,125 [50%]					

### 【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i	概ね達成	地域の課題解決に向けた取組支援、組織設立を検討する地域及び市町村等への専門家派遣、地域コミュニティ組織向けの研修会による優良事例やノウハウの共有等を行ったことから、ネットワーク・コミュニティの構築が進展し、目標値を概ね達成した。	概ね達成

#### 【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模集落応援隊の活動により、草刈りや山林の清掃等が行われ、集落維持が図られた(延べ61カ所、参加者延べ444人)。</li> <li>・新規の地域コミュニティ組織の立ち上げに取り組む地域に対して、住民アンケート等の実施や本格事業に向けての試行の取組等を支援した。(6件)</li> <li>・地域コミュニティ組織の継続的な運営のため自主財源確保に取り組む市町村に対して、特産品の商品開発や製造設備の整備を支援した。(2件)</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と離島航路の維持改善に向けた協議を行うとともに、国や関係市村と協調して、離島航路事業者に対する運航費助成を行い、離島航路の維持・確保を図った。</li> <li>・燃料費高騰により厳しい経営状況にある地域公共交通事業者に対して、軽油等燃料費の一部を助成することで、公共交通の維持・確保に努めた。</li> </ul>
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティ組織の設立支援等を行っている団体に対し、引き続きOJT支援を実施するとともに、過疎地域等政策支援員に委嘱することにより、中間支援体制の充実を図った。</li> </ul>
④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の身近な道路整備への要望に対し、既存道路敷を利用して歩道幅員や路肩の拡幅など小規模な工事を行い、生活道路の利便性・安全性の向上を図った。</li> </ul>

#### 【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(5年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①③	ネットワーク・コミュニティ推進事業	96.7	128
①	小規模集落等水源整備支援事業	25.0	128
②	離島航路対策費	100.0	128
	地方バス路線維持対策費	98.2	129
	生活交通路線支援事業	98.2	129
	地域公共交通燃料高騰緊急支援事業	97.4	129
④	(単)身近な道改善事業	96.0	97
	交通安全事業	-	97

#### 【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○R5年度新しいおおいた共創会議 地域別部会(R6.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能なコミュニティづくりには、地域コミュニティ組織が10年後も活躍していることが欠かせない。期限を区切らない継続支援をして欲しい。</li> <li>・小さな集落だがコミュニティは継続している。頑張るコミュニティへの支援を引き続きお願いしたい。</li> </ul> <p>○大分県バス協会「R6年度県政予算に関する要望書」(R5.10)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法改正により、特例教習による大型二種免許の取得年齢の引き下げが行われた。この特例教習費用の支援をして欲しい。</li> </ul>	<p>○大分県中小企業団体中央会「R6年度国政・県政予算等に関する要望書」(R5.10)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原油価格高騰の影響を直接受ける運輸業(貨物運送業、旅客運送業等)の経営を安定させるため、燃料費負担を軽減させる支援策の拡充を図ること。</li> </ul> <p>○連合大分「2024年度予算編成に関わる要請」(R5.10)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バス事業については、複数の市町村をまたぐ路線バス運行へ運行費を助成する「地方バス路線維持対策事業」及び県民生活に必要不可欠な地域公共交通に対して助成する「生活交通路線支援事業」を引き続き行うとともに、事業の拡充を図ること。</li> </ul>
---	--

#### 【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティ組織の設立・運営支援等を担う中間支援組織の育成を引き続き進めるとともに、地域の担い手確保の取組を促進し、将来的に持続可能なネットワーク・コミュニティの構築を推進する。</li> <li>・公共交通サービスの維持・確保のため、事業者が取り組む運転手確保対策や労働環境改善に対して支援する。</li> <li>・バス無料の日の実施による需要喚起策、EV車両導入への助成による公共交通の燃料費節減や特例教習に対する助成を含む乗務員確保対策への支援などにより、地域住民の生活を支える移手段の確保に努める。</li> </ul>